

Mackie Control エミュレーション

FW-1082 には Mackie Control モードがあります。このドキュメントでカバーされていない一般的なアプリケーションについては、この Mackie Control モードをサポートしていれば、FW-1082 と組み合わせて使うことができます。

FW-1082 コントロールパネルを開き、[Settings] タブの [Control Protocol] のドロップダウンリストから [Mackie Control Emulation] を選択します。ご使用のアプリの説明書にしたがい、Mackie Control の設定をしてください。コントロール・サーフェスの MIDI 入力、MIDI 出力を FW-1082 のコントロール・ポートにアサインしてください。

コントロールの詳細

FW-1082 のサーフェスコントロールは、おおむね予想どおりにアプリケーションのそれに対応するパラメータをコントロールします。たとえば、フェーダー、ミュート、ソロ、トランスポートコントロールはアプリケーション上で同じパラメータをコントロールします。以下にその例外を説明します。

トランスポートキーについて補足

FW-1082 の以下のキーは Mackie Control で指定されたキーをエミュレートします。実際にこれらの機能をサポートしているか否かはアプリケーションによります。

IN = PI (パンチイン)

OUT = PO (パンチアウト)

SET = ZOOM

<<LOCATE = HOME

LOCATE>> = END

SHIFT = SHIFT

データダイアル

データダイアルは Mackie Control のダイアルの機能をエミュレートします。SHTL キーは SCRUB キーの機能をエミュレートします。

SEL キー

FW-1082 の SEL キーを押すとアプリケーション上のそのチャンネルを選択できます。

赤い REC キーを押しながら SEL キーを押すと、そのトラックのレックファンクションのオン・オフが切り換わります。

F.KEYS キー

FW-1082 の F.KEYS キーは Mackie Control の F キーをエミュレートします。たいていのアプリではこれらの機能をプログラムすることができます。

矢印キー (カーソルキー)

上下左右の矢印キーは Mackie Control のカーソルキーをエミュレートします。

BANK キー

BANK>キーまたは <BANK キーを押すと、FW-1082 のコントロール対象となる 8 チャンネルバンクが前後に切り換わります。

SHIFT キーを押しながら BANK>キーまたは <BANK キーを押すと、FW-1082 のコントロール対象となるチャンネルが 1 チャンネルずつ前後に切り換わります。